



直峰通信

令和2年7月20日（月）発行

新聞紙上でも高校(中学)最後の部活動に臨む生徒たちの姿が取り上げられています。日々の学業に励みつつ、勉強だけでは得られない経験や仲間との一体感を手にできるのが部活動です。これから試合(発表)に臨む生徒には、ぜひこれまで培ったすべてを発揮するつもりで臨んでほしいと思います。

安塚分校での愛好会活動については前回この紙面でお伝えしました。体を動かし一汗流すことで、学習も含め物事への集中力も増してくる、といったことも愛好会活動(部活動)の理想のかたちです。それぞれのペースで、でもみなで集まってともに声を掛け合いながら、活動を続けていく。体力だけでなく、体も心もリフレッシュする技術、何気ない声かけから始まるコミュニケーション技術、こんなことも愛好会活動を通して自覚してほしいと思います。

各学年の特色ある取組 7/15のHRから ～1学年～ SOSの出し方に関する教育

県内すべての学校で行うことになっている標記教育を1学年で行いました。先月教員全体で研修会を持ち、準備にあたりました。授業では、生徒が交替で話し手や聞き手となり、自身の悩みを相談するといったロールプレイを行いました。生徒は、困ったら誰かに声をかけ相談に乗ってもらう意義、また、話を聞いてやることの大切さをお互い認識できていたようです。「相談を受けたときは、自分の居場所があるようで、とても安心するし、相手が自分を頼ってくれるのがうれしかった」という生徒の意見がありました。人を支えにする、また人の支えになる。このような経験をそれぞれが重ねながら、一人ひとりが自己肯定感を高めてくれればと思います。



～2学年～ 修学旅行事前平和学習

修学旅行(10月13日～16日九州・関西方面実施予定)の事前学習として、『長崎の記憶 幻の原爆フィルムで歩く長崎』という映像を見ながら、人間の命、原爆、平和などについて学びました。以下生徒の感想です。

- ・ 被爆した子どもたちの姿が印象に残った。
- ・ もう二度とこのような戦争を起こさない世の中にしていきたいと思った。
- ・ 自分たちも長崎に行くので、もっと原爆などについて学んでいきたい。

行程にはハウステンボスに代表される異国情緒あふれる長崎も含まれています。しかし所々に残る原爆の跡を訪れ、現在と75年前とのギャップについても自分たちの目で見ることを通し、平和と対極にあるもの、また平和ということについても感じ取ってきてほしいと考えています。



～3学年～ 面接礼法指導

進学や就職試験での面接試験対策として、入室や基本的な受け答えについて実践練習をしました。知っていると実際にできるとは違うということ、体感できたのではないのでしょうか。グループによっては

生徒が面接官として、練習の相手をする場面も見られました。お互いで評価し合い、良さは自身も真似てみて、改善点は共有し合い、次のステップに上がってほしいと思います。引き続き指導、練習を進めていきます。今年の就職試験は1ヶ月先延ばしとなり、10月16日からとなります。

『保健だより 7月号』より

6月に中井良和カウンセラーを講師に迎え、1・2年生対象の講演会が行われました。昨年に引き続き分校の様子をよく観察していただき、話をさせていただきました。以下概要です。

6月に中井スクールカウンセラーを講師に迎え1・2年生対象の講演会が行われました。

「高校3年間で身に着ける力」講師 中井良和スクールカウンセラー

▼高校生活で身につけておきたい基本的な力⇒“その時にできればできる”ではなく今から準備する。
・就寝・起床・登校の自己管理、金の管理、分からないときは人に聞く力、片付ける力など

▼社会に出てつまづく問題⇒・出勤時間ギリ（ゆとりなし）

家でおこることは、
職場でもおこりやすい

・予定通りに資料作りや提出ができない。（計画性なし、信用なし）
・仕事がたまる、必要な資料が分からない。（整理整頓・優先順位できない）

そこで必要な力「計画力について知る」⇒ ①物を見る力 ②優先順位をつける力

★計画力を身につけたら起きる変化

高校生くらいになると、自分で自分の可能性を閉じがちになる。

・なりたい自分に近づく
・希望や願望をかなえる
・信用信頼が得られる

努力の仕方を学べば
なりたい自分になれる。
いく。

何となく人生は過ぎて
いく。自分がどう動く
かが大切。

努力していくことが、
なりたいものを広げて
いくことになる。

★今からできるPDCA（Plan:計画 Do:実行 Check:確認 Action:練り直し）

①「手帳」を使ってスケジュール管理（スマホでもよい）
②テストに合わせた「計画表」作り、計画と実行の確認。
③目標を実現するための「計画」を立てやってみる。
④「提出物」の期限を守る。これもスケジュール管理。

★ささいなことから見力がつく。
★見返し修正することで自分が分かってくる
テストは自分をみがくとき
★自分で自分の行動を管理する。
★自分の可能性を自分で広げていけるように

例年のことでしょうか、分校のまわりでは、多くの鳥が思い思いに鳴き交わしております。特に雨上がりの晴れ間のひととき、また夕刻には、この時を待ちわびていたかのように、すずめにウグイス、ホトギス、名前の知らない鳥がさえずり出します。キツキらしき鳥なのか、木をたたく音も聞こえます。ひぐらしのカナカナ鳴く音も聞こえてきました。職員も口々に、素晴らしい環境だと声を交わしております。

昨今、行動面をはじめ、さまざまな約束事が増えてきました。社会に出る上でこれはこれで守るべきものです。「with コロナ」などという言葉も聞こえ始めました。これからどうなるのか見通しがききませんが、森の木々を眺めながら鳥の声を聞き背伸びをする、そんなひとときを大事にしたいと思うこの頃です。

1学期終業式 7/29(水) 夏季休業 7/30(木)～8/23(日)
2学期始業式 8/24(月) 閉庁日 8/11(火)～17(月)

新潟県立高田高等学校安塚分校

〔担当:教頭 沢田貴博〕

〒942-0411 上越市安塚区下方129番地
HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>

電話 025-592-2306 FAX 025-592-3541
mail school@தாகayszk-h.nein.ed.jp